

質問回答

2015年11月30日

「ベトナム国ハノイ首都圏 BRT 情報収集・確認調査」

(2015年11月18日 / 公示番号: 150936) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	6.1.2 IC/R、6.4 PR/R、6.6 IT/R、6.10 DF/R、6.11 F/R のそれぞれの作成について	<p>6.1.2 IC/R(英・和) 6.4 PR/R(和) 6.6 IT/R(英・和) 6.10 DF/R(英・和) 6.11 F/R(英・和・越) とありますが、F/R 以外、越語版は不要ということでしょうか？ 調査の途中で先方政府と協議するためにも、越語版の作成が必要だと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>ご提案を踏まえ、IC/R 及び IT/R については、越語も作成いただくことに修正します。また、作成部数については、既に定めている他の言語と同数に致します。</p>
2	6.7.3 事業評価の実施	<p>本件のような情報収集・確認調査の中で事業評価を行う場合、どのようなアウトプット・レベルのものが求められているのでしょうか。 定性的な記述で良いのか(経済性とありますので、定量的な記述が必要になってくると理解しますが、この点いかがでしょうか)、また定量的なものならば整理のために使う指標等、想定されているものはあるのでしょうか。</p>	<p>本調査では複数の代替案を比較検討・評価するために、経済性については定量的な便益計算(初期コスト、維持管理費用、事業収入等)を想定しています。 なお、本情報収集・確認調査を実施後、先方政府からの要請があれば、協力準備調査の実施を検討していますので、詳細な財務分析、経済分析は不要です。</p>

3	6.8 環境社会配慮・ジェンダーについて	<p>本案件の JICA 環境社会配慮ガイドラインに基づくカテゴリー分類が決まっていればご教示お願いします。特に本案件の場合、プレ F/S であり、線形が決まっていない中での騒音測定・大気測定などの現地調査の実施は難しく、IEE レベルの検討で十分と考えますが、その理解で宜しいでしょうか。また、線形が決まっていない中でのステークホルダーの特定は難しい面がありますが、その場合でもステークホルダー協議などを通じた現地の人々へのコンタクトは必要なのでしょうか。</p>	<p>現時点においては、カテゴリー B を想定しています。</p> <p>基本的には既存データなどの活用や簡易な現地調査による IEE のレベルで問題ありません。また、都心部以外の線形については概ね想定されるため現地におけるステークホルダー協議をお願いします。</p>
---	----------------------	---	--

以上